

## 山行報告書

山行報告者：齋藤

山域・山名：硫黄岳(2,760m)-横岳(2,829m)-赤岳(2,899m)縦走（長野県茅野市）	
入山日：平成30年11月3日(土) 1泊2日 帰宅予定日：11月4日	
プラン担当者 正：齋藤 副：小川(正)	
参加者	L：齋藤 報：TDB 記：齋藤 鈴木、井口、小川(正)
	男4名、女0名、計4名
天候：曇り時々晴	
11月3日(土)	車移動 06:30 大宮駅⇒桶川北本 IC(圏央道)⇒八王子 JCT(中央道)⇒諏訪南 IC ⇒10:00 やまのこ村駐車場 山行 10:30 やまのこ村→12:15 赤岳鉱泉→15:00 硫黄岳山荘 硫黄岳山荘にて宿泊 行動時間：4時間30分、高度差 1,160m(2,650m-1,490m)
11月4日(日)	山行 07:00 硫黄岳山荘→08:45 地蔵の頭→09:30 赤岳→(文三郎尾根)→10:45 行者小屋 →12:30 やまのこ村 車移動 13:00 やまのこ村駐車場⇒諏訪南 IC(中央道)⇒八王子 JCT(圏央道)⇒桶川北本 IC ⇒19:00 大宮駅 行動時間：5時間30分、高度差：1,409m(2,899m-1,490mm)
装備と食糧	共同装備：ツェルト(齋藤)、GPS(齋藤) 共同食：無し 車提供者：齋藤
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、水、手袋、ヘルメット、靴滑り止め(チェーンアイゼン/軽アイゼン)、セルフビレイセット、お風呂セット 個人食：11/3 昼、11/4 昼
感想(齋藤)	約1ヶ月前の台風24号により流された橋が予想以上に早く復旧して、車で美濃戸まで入ることができた。往路の北沢は台風の影響をさほど感じさせなかったが、復路の南沢の荒れようはすさまじかった。天候はますますといったところか。硫黄岳の爆裂火口は霧で拝むことはできなかったが、要所で天候は回復、綺麗な虹やブロックン現象、八ヶ岳ブルーの青空をみることもできた。この週末は、通年営業の赤岳鉱泉を除く夏小屋の最終営業日で、我々の宿泊する硫黄岳山荘も、その翌日小屋じまいであった。宿泊客は60人程だろうか、夕食時には酒が振る舞われ(飲み放題!)、一人ずつ自己紹介、そして最後には雪山賛歌を参加者全員で歌った(歌わされた?)。(歌が9番までであるとは、びっくり?!)初めての赤岳は、プランナーとしての山行でもあった。多くのメンバーの参加を期待して、工程を組んだつもりだったが、参加者4人はちょっと残念。しかし、最強のチームで初冬の南八ヶ岳を楽しむことができた。硫黄岳山荘の看板娘のコンちゃんには、また会いにいかがかな!(!)

